

練馬区耐震改修促進計画（素案）に寄せられた意見と区の考え方について

1 意見の受付状況

(1) 意見募集期間

令和7年12月11日（木）から令和8年1月15日（木）まで

(2) 意見件数

137件（137名）

2 子どもから寄せられた意見（要旨）と区の考え

対応区分の種類

◎ 意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの

○ 素案に趣旨を掲載しているもの

□ 素案に記載はないが他の施策・事業等ですでに実施しているもの

△ 事業実施等の際に検討するもの

※ 趣旨を反映できないもの

— その他、上記以外のもの

ばんごう 番号	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かつ 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
けいかくぜんぱん かん 計画全般に関すること			
1	ねりまくたいしんかいしゅうそくしんけいかく 練馬区耐震改修促進計画を じっこう 実行したほうが良いと思う。 おな いけん けん (ほか同じ意見 12件)	く 区は、これまでも地震からみな じしん さんの命やお家などの財産を守る いのち うち ざいさん まも ため、耐震化を進めてきました。 たいしんか すす	○
2	だいじしん お いつ大地震が起きてもおかし たいしんせい あんしん くない。耐震性があると安心で けるので、この計画はとても良 けいかく よ いと思う。	こんご たいしんか すす 今後さらに耐震化を進めるた め、新しい計画に基づき、支援や あたらしけいかく もと しえん 助成を手厚くして、災害に強いま じよせい きいがい つよ ちづくりにつなげていきます。	○
3	じしん み まも 地震から身を守るためにいい おも と思う。		○
4	たてもの たお したじ 建物が倒れづらくなると下敷 きになりにくくなるだけでな く、その後避難や車が通る あと ひなん くるま とお ことができていることがたくさ んあると思った。 おも (ほか同じ意見 2件)		○
5	いえ ひが い すく ひよう 家の被害が少なければ費用も おさ 抑えられていいと思った。 おな いけん けん (ほか同じ意見 1件)		○
6	あそ い ふる よく遊びに行くところが古く じしん お たお て地震が起きたら倒れてきそ う。怖いのでこの計画は賛成で こわ けいかく さんせい す。		○
7	ひがしにほんだいいしんさい 東日本大震災のときみたいに たてもの ほうかい こわ 建物が崩壊したりするのが怖い けいかく うれ のでこの計画は嬉しいです。		○

8	<p>建物を地震に強くしておく と、地震が来たときに安心でい いと思います。 (ほか同じ意見 4件)</p>		○
9	<p>練馬区で計画が進んでいる事 をまったく知らなくて正直び っくりした。</p>		○
10	<p>家具の固定や家の耐震化の 重要性がよくわかりました。</p>		○
11	<p>いつ地震が来てもいいよう に、しっかり逃げられるように 道をつくり、すぐに逃げ込める 場所をつくったほうがいいと思 いました。</p>		○
12	<p>東日本大震災のような大きな 地震が起こっても学校が崩壊し ないために、窓に棒みたいな 地震を防ぐものがついているこ とは知っていたけど、他の被害 が起こらないためにもいろい ろな対策があることを知った。</p>		○
13	<p>近くに古い建物や今にも崩れ そうな建物がないか探しながら 歩き、地震に備えようと思いま した。</p>		○
14	<p>地震に強い町づくりは大切だ と思います。相談場所を開くだ けでなく、相談をしに行くこと も大切なことだと思います。</p>		○
15	<p>自分の家や周りの家が、地震 が起きた時に崩れないか心配に</p>	<p>大きな地震は、いつ起きるか分 かりません。</p>	○

	<p>なった。 (ほか同じ意見 6件)</p>	<p>令和6年の能登半島地震でも、強い揺れによって、古い建物が多</p>	
16	<p>地震が起きたらすぐ倒れてしま</p> <p>まいそうな古い建物がたくさんあ</p> <p>って怖いと思った。 (ほか同じ意見 6件)</p>	<p>く倒れてしまいました。 建物が倒れると、中にいる人や</p> <p>近くにいる人が下じきになり、大</p>	○
17	<p>住んでいるマンションはす</p> <p>で耐震工事をしてはいますが、少</p> <p>し不安です。</p>	<p>うおそれがあります。また、倒れ</p> <p>た建物が道をふさいでしまうと、</p> <p>消防車や救急車が通れなくな</p>	○
18	<p>地震の時に自分の家が大きく</p> <p>揺れた。 (ほか同じ意見 1件)</p>	<p>り、助けに向かうことができない</p> <p>場合もあります。 こうした危険を防ぐために、引</p>	○
19	<p>練馬区は海が周りにないから</p> <p>津波の心配はないけど、家がた</p> <p>くさんあるから瓦礫に挟まりそ</p> <p>う。</p>	<p>きます。</p>	○
20	<p>耐震性のある建物が増えてき</p> <p>ているなと思った。でも、まだ</p> <p>古い建物も少しあると思った。</p>	<p>区内の住宅は、耐震化が進み、</p> <p>9割以上(94.5%)が耐震性のあ</p> <p>る建物となっています。 まだ耐震性のない建物も少し残</p> <p>っているので、引き続き、建物の</p> <p>耐震化を進めていきます。</p>	○
21	<p>老朽化した古い家の耐震化</p> <p>工事を進める。 (ほか同じ意見 6件)</p>	<p>古い建物を耐震化することは、</p> <p>地震が起きても建物が倒れにく</p> <p>くして、みなさんの命や財産を守る</p>	○
22	<p>地震が来ても大丈夫な建物を</p> <p>作る。 (ほか同じ意見 9件)</p>	<p>ために大切な取組です。 引き続き、建物の耐震化を進め</p> <p>ていきます。</p>	○
23	<p>マンション・アパートも多い</p> <p>から同じような対策をしてほし</p>	<p>アパートやマンションも耐震化</p> <p>を進めていて、耐震化率は9割を</p>	○

	い。	こ 超えています。新 ^{あたら} しい計 ^{けい} 画 ^{かく} では、 アパ ^{ふく} ートやマンシ ^{ふく} ョンも含 ^{ふく} めて10 ねんご ねんご ねんご 年後 ^{ねんご} （令 ^{れい} 和 ^わ 17年度 ^{ねんご} 末 ^{まつ} ）ま ^{まつ} でに たいしんかりつ 耐震 ^{たいしん} 化 ^{かりつ} 率 ^め 100%を ^め 目 ^め 指 ^め すこと ^め と ^め して います。	
24	じしん おお とき ひなん 地震 ^{じしん} が起 ^お きた時 ^{とき} に避 ^ひ 難 ^{なん} でき ^{でき} る シェルターを ^{じどうかん} 児 ^じ 童 ^{どう} 館 ^{かん} にも ^{つく} 作 ^{つく} って ほしい。	おお じしん おお たてもの 大 ^{おお} きな地 ^じ 震 ^{しん} が起 ^お きた時 ^{とき} 、建 ^{たてもの} 物 ^{もの} のどこに ^{あんぜん} いても安 ^{あん} 全 ^{ぜん} で ^{ぜん} い ^い ら ^い れるよ うにする ^{たてもの} ため ^{たてもの} には、建 ^{たてもの} 物 ^{もの} 全 ^{ぜん} 体 ^{たい} をし っかりと耐 ^{たいしん} 震 ^か 化 ^か する ^{たいせつ} こと ^{たいせつ} が ^{たいせつ} 大 ^{たいせつ} 切 ^{たいせつ} で す。 しかし、さ ^{りゆう} ま ^{りゆう} ざ ^{りゆう} ま ^{りゆう} な理 ^り 由 ^{ゆう} で建 ^{たてもの} 物 ^{もの} の耐 ^{たいしん} 震 ^か 化 ^か が ^{じゅうたく} む ^{じゅうたく} ず ^{じゅうたく} か ^{じゅうたく} しい住 ^{じゅうたく} 宅 ^{たく} につい ては、部 ^へ 屋 ^や の ^{いちぶ} 一 ^{いち} 部 ^ぶ を ^{あんぜん} 安 ^{あん} 全 ^{ぜん} に ^{あんぜん} する 「耐 ^{たいしん} 震 ^か シェルター」や「耐 ^{たいしん} 震 ^か ベッ ド」の ^{せっちひよう} 設 ^せ 置 ^ち 費 ^ひ 用 ^{よう} を ^く 区 ^く が ^{しえん} 支 ^し 援 ^{えん} して ^{しえん} い ま ^{しえん} す。 な ^{くない} お、区 ^く 内 ^{ない} に ^{じどうかん} あ ^{じどうかん} る ^{じどうかん} 児 ^じ 童 ^{どう} 館 ^{かん} は、 ^す す べ ^{たいしんせい} て耐 ^{たいしん} 震 ^{せい} 性 ^{せい} が ^{たてもの} あ ^{たてもの} る ^{たてもの} 建 ^{たてもの} 物 ^{もの} で ^す す。	○
25	シェルターをつくる。（1 かい かい ち ち 階 ^{かい} 、2階 ^{かい} 、地 ^ち 下 ^か ） （ほ ^{おな} か ^{おな} 同 ^い じ ^い 意 ^{けん} 見 ^{けん} 2件 ^{けん} ）	しかし、さ ^{りゆう} ま ^{りゆう} ざ ^{りゆう} ま ^{りゆう} な理 ^り 由 ^{ゆう} で建 ^{たてもの} 物 ^{もの} の耐 ^{たいしん} 震 ^か 化 ^か が ^{じゅうたく} む ^{じゅうたく} ず ^{じゅうたく} か ^{じゅうたく} しい住 ^{じゅうたく} 宅 ^{たく} につい ては、部 ^へ 屋 ^や の ^{いちぶ} 一 ^{いち} 部 ^ぶ を ^{あんぜん} 安 ^{あん} 全 ^{ぜん} に ^{あんぜん} する 「耐 ^{たいしん} 震 ^か シェルター」や「耐 ^{たいしん} 震 ^か ベッ ド」の ^{せっちひよう} 設 ^せ 置 ^ち 費 ^ひ 用 ^{よう} を ^く 区 ^く が ^{しえん} 支 ^し 援 ^{えん} して ^{しえん} い ま ^{しえん} す。 な ^{くない} お、区 ^く 内 ^{ない} に ^{じどうかん} あ ^{じどうかん} る ^{じどうかん} 児 ^じ 童 ^{どう} 館 ^{かん} は、 ^す す べ ^{たいしんせい} て耐 ^{たいしん} 震 ^{せい} 性 ^{せい} が ^{たてもの} あ ^{たてもの} る ^{たてもの} 建 ^{たてもの} 物 ^{もの} で ^す す。	○
26	しんどう いじょう ゆ れ かんち 震 ^{しん} 度 ^{どう} 3以上 ^{いじょう} の揺 ^ゆ れを ^{かんち} 感 ^{かん} 知 ^ち した ら ^か 家 ^か が ^う 浮 ^う くシ ^し ス ^す テ ^て ム ^む が ^あ あ ^あ る。 （ ^た 建 ^た て ^あ た ^あ 後 ^あ でも ^あ つ ^あ け ^あ ら ^あ れる）	たてもの たいしんか 建 ^{たてもの} 物 ^{もの} の耐 ^{たいしん} 震 ^か 化 ^か には、さ ^{りゆう} ま ^{りゆう} ざ ^{りゆう} ま ^{りゆう} な理 ^り 由 ^{ゆう} で建 ^{たてもの} 物 ^{もの} の耐 ^{たいしん} 震 ^か 化 ^か が ^{じゅうたく} む ^{じゅうたく} ず ^{じゅうたく} か ^{じゅうたく} しい住 ^{じゅうたく} 宅 ^{たく} につい ては、部 ^へ 屋 ^や の ^{いちぶ} 一 ^{いち} 部 ^ぶ を ^{あんぜん} 安 ^{あん} 全 ^{ぜん} に ^{あんぜん} する 「耐 ^{たいしん} 震 ^か シェルター」や「耐 ^{たいしん} 震 ^か ベッ ド」の ^{せっちひよう} 設 ^せ 置 ^ち 費 ^ひ 用 ^{よう} を ^く 区 ^く が ^{しえん} 支 ^し 援 ^{えん} して ^{しえん} い ま ^{しえん} す。 な ^{くない} お、区 ^く 内 ^{ない} に ^{じどうかん} あ ^{じどうかん} る ^{じどうかん} 児 ^じ 童 ^{どう} 館 ^{かん} は、 ^す す べ ^{たいしんせい} て耐 ^{たいしん} 震 ^{せい} 性 ^{せい} が ^{たてもの} あ ^{たてもの} る ^{たてもの} 建 ^{たてもの} 物 ^{もの} で ^す す。	○
27	ぜいきん なん つか ぎもん 税 ^ぜ 金 ^{いきん} の何 ^{なん} %を ^{つか} 使 ^{つか} うの ^ぎ か ^{もん} 疑 ^ぎ 問 ^{もん} で す。税 ^ぜ 金 ^{いきん} の30%以上 ^{いじょう} を ^{つか} 使 ^{つか} うの なら、こ ^こ の ^{しえん} 子 ^し ど ^{えん} も ^{まわ} の ^{まわ} 支 ^し 援 ^{えん} に ^{まわ} 回 ^{まわ} した ^{まわ} ほ う ^よ が ^{おも} 良 ^{おも} い ^{おも} と思 ^{おも} う。	く よさん たてもの たいしんか 区 ^く の ^よ 予 ^よ 算 ^{さん} は、建 ^{たてもの} 物 ^{もの} の耐 ^{たいしん} 震 ^か 化 ^か をは じ ^こ め、子 ^こ ど ^{きょう} も ^い や ^い 教 ^{きょう} 育 ^{いく} 、福 ^ふ 祉 ^く など ^{ふく} バ ラ ^ら ンス ^ん を ^ら と ^ん り ^ん な ^ん が ^ん ら ^ん 決 ^き め ^め て ^め い ^め ま す。 な ^{れい} お、令 ^{れい} 和 ^わ 7年度 ^{ねんご} の ^よ 予 ^よ 算 ^{さん} では、 しょうちゅうがっこう ようちえん ほいくえん 小 ^{しょう} 中 ^{ちゅう} 学 ^{がっこう} 校 ^{がっこう} や ^{よう} 幼 ^{よう} 稚 ^ち 園 ^{えん} 、保 ^ほ 育 ^{いく} 園 ^{えん} 、	○

		<p>児童館など子どもに関するお金は、区全体で使うお金の約4割(39.9%)。建物の耐震化に使うお金は区全体で使うお金の約0.1%です。</p>	
<p>今後の取組みに関すること</p>			
28	<p>もっと充実させてほしい。</p>	<p>更に耐震化を進めるため、新しい計画に基づき、支援や助成を手厚く充実して、災害に強いまちづくりにつなげていきます。</p>	△
29	<p>練馬区以外の他の市や区、県と耐震の取組みについて連携してほしい。</p> <p>おじいちゃんおばあちゃんが遠くに住んでいることもあるので、もっといろいろな人がけがをしないで済むと思った。</p>	<p>建物の耐震化は、国が決める方針などを踏まえながら、全国の自治体がそれぞれ計画を作り、取り組んでいます。</p> <p>練馬区も計画を立てた上で、東京都や他の自治体と情報を共有したり、連携しながら建物の耐震化を進めるための取組を行っています。</p>	○
30	<p>耐震化が、古い建物を改善することならば、すべての人が対象ではなくなるのではないか。</p>	<p>古い建物は、その建物の所有者が、区の支援を受けながら、耐震化を進めることになります。</p> <p>古い建物の耐震化を進めれば、建物が倒れて周囲の道路をふさいだり、消防車や救急車が通れなくなったりするのを防ぐことができます。</p> <p>耐震化は、その建物に住んでいる人だけでなく、まち全体を災害</p>	○

		つよ に強くすることにつながります。	
(施策1 耐震化に関する周知)			
31	地震で家を無くす人がたくさんいるから、家の耐震化についてチラシに書いて耐震化のご協力をお願いします。	区では、耐震化に関する情報を掲載したチラシやパンフレットを作っています。 耐震化の相談や個別に訪問した時などにこのチラシやパンフレットを使って、皆さんに耐震化のお願いや助成制度の説明など行っています。	○
32	耐震について相談できる窓口を作っても、その存在知らない人がいると思う（特に若い人たち）。 なので、InstagramやYouTubeのショート動画などで練馬区民の目に留まるような発信の仕方をする。耐震という言葉に触れることで考える機会も増やせる可能性がある。	区の公式YouTube、本庁舎や区民事務所のモニター（デジタルサイネージ）で、耐震化を支援する制度の紹介動画を放映するなど、耐震化についての情報を発信しています。 今後は、新しい計画の中にInstagramやYouTubeのショート動画を活用することも反映して、あらゆる世代の方に耐震化の情報が届けられるようにしていきます。	◎
33	首都直下地震がいつ起こるか分からないので、どんどん街の人に耐震の大切さを伝えていくと良いと思います。 (ほか同じ意見 3件)	耐震化の大切さを「知ること」は、とても重要です。 ホームページ、広報紙やSNSなどを活用し、分かりやすい情報を発信していきます。	○
34	耐震基準や自分の家の耐震などについて何も知らないので、	古い建物（昭和56年(1981年)5月以前の建物や平成12年(2000年)	○

	<p>この機会に耐震基準について知りたい。区民の耐震基準の周知不足が課題だと感じる。</p>	<p>5月以前の一部の木造建物)は、現在の耐震基準で調べる(診断する)と、耐震性が不足していることがあります。</p> <p>もし、耐震性について不安があるときは、区の耐震総合窓口や建築士などの専門家に相談してみてください。</p>	
35	<p>自分の家も耐震性があるか確認してくれたら安心する。地震のときに安全な場所も知りたい。 (ほか同じ意見 2件)</p>	<p>また、令和8年度からは、耐震性が不足している可能性がある木造住宅について、区が無料で耐震診断を実施する制度を開始する予定です。</p>	○
36	<p>耐震性の検索などをする。</p>	<p>また、令和8年度からは、耐震性が不足している可能性がある木造住宅について、区が無料で耐震診断を実施する制度を開始する予定です。</p>	○
37	<p>急に地震が起きたら怖いから、地震が来たら、スマホで知らせるのがいいと思う。 (ほか同じ意見 1件)</p>	<p>地震が起きた際には、緊急地震速報や区内の防災無線、メール配信などを通じて、地震発生のお知らせが届くようになっていきます。</p> <p>大地震はいつ起こるか分かりません。建物の耐震化をはじめ、日ごろから備えておくことが重要です。</p> <p>また、地震対策に関する情報は、ホームページ、広報紙やSNSなどを活用し、分かりやすい形で発信していきます。</p>	○
<p>しきく そうだんたいせいなど きょうか (施策2 相談体制等の強化)</p>			
38	<p>この機会に説明会などを開き、より多くの人に建物の安全性や耐震基準を知ってもら</p>	<p>今後も学校や公園で開催している防災啓発イベント等を通じて小学生、中学生をはじめ、あら</p>	□

	<p>うようにしたらいいと考える。 (ほか同じ意見 1件)</p>	<p>ゆる世代の方に向けて、耐震化の必要性をお知らせする取組を行っています。</p>	
39	<p>小学生向けに耐震化の必要性を説明したほうがいいと思う。</p>		<input type="checkbox"/>
40	<p>過去の地震被害から、今後私たちに起こる可能性がある被害を伝え、耐震の重要性を子どもたちに伝える。区内の小中学校での講演会など。</p>		<input type="checkbox"/>
<p>しきく 3 しゅうしゃ べつほうもんなど けいはつ (施策3 所有者への個別訪問等による啓発)</p>			
41	<p>地震が起きた際に崩れる可能性がある家に住んでいる人や、所有者にメールなどで個人に伝える、それに加えて、今行っている取り組み(相談窓口があることや、費用を一部負担してくれることなど)も伝える。</p>	<p>区では、古い建物の所有者に、手紙やメールを送ったり、個別訪問等を実施し、耐震化の大切さや区が行っている取組をお伝えしています。 引き続き、必要な情報がしっかりと伝わって耐震化が進むよう取り組んでいきます。</p>	○
<p>しきく 4 たいしんかいしゅうとう たい ひようじよせい (施策4 耐震改修等に対する費用助成)</p>			
42	<p>大地震が起きたときに今までは倒壊していたけど、耐震工事をすれば倒壊しないため、在宅避難が可能となる。そうすると避難場所の圧迫を防ぐから、エコノミー症候群を防ぐことにもつながり死傷病者の減少にもつながるので、補助金などを出して推進してください。</p>	<p>建物を耐震化すると、大地震が起きても倒壊しにくくなり、けがをしたり命を落としたりする危険を減らすことができます。 また、地震のあとも、そのまま自宅で避難生活ができる可能性が高くなります。 耐震化の大切さや助成制度をお知らせして、より多くの方に</p>	○

43	<p>区が耐震化の費用を助けてくれるのがすごくいいと思いました。</p>	<p>耐震化を進めていただけるよう取り組みでいきます。</p>	○
44	<p>財産補填制度を作ったほうがいいと思います。</p>	<p>地震から皆さんの命やお家などの財産を守るため、耐震化を進めることが大切です。 耐震化にあたっては、費用負担の課題があるので、区では、費用の一部を助成して、耐震化が進むように取り組んでいます。 なお、財産補填制度は災害等で失った財産をお金で埋め合わせるための制度で、すでに国が制度を設けています。区では、地震があっても財産などの被害を防ぐ（財産を失うことを未然に防ぐ）ため、耐震化助成などの支援に取り組みます。</p>	—
45	<p>練馬区は武蔵野台地にあるし海が近くに無いことから、地震による被害は少ないと思うので、お金を多く出したりする必要はないと思います。</p>	<p>練馬区は海から離れているため、津波の被害は受けにくいですが、地震の揺れは場所に関係なく起こります。 首都直下地震等による東京の被害想定によると、練馬区では、約12,500棟に被害があり、負傷者は約3,500人と想定されています。 耐震化は、その建物に住んでい る人だけでなく、まち全体を災害に強くすることにつながります。 そのため、新しい計画に基づき、支援や助成を手厚く充実し</p>	※

		<p>たてももの たいしんか すす て、建物の耐震化を進めていきます。</p>	
46	<p>たいしんか ひよう ほじょきん 耐震化にかかる費用の補助金 だいたい は大体どのくらいまで出るので すか？</p>	<p>いっほんてき じゅうたく ぼあい たいしんしんだん 一般的な住宅の場合、耐震診断 まんえん じっしせつけい まんえん は12万円、実施設計は22万円、 たいしんかいしゅうこうじ まんえん じよせい 耐震改修工事は130万円まで助成 きんせいど 金制度があります。 また、こうれいしや しょうがいしやなど 高齢者や障害者等が きょじゅう じゅうたく 居住する住宅などについては、 じよせいきん うわの 助成金の上乗せがあります。 さらに、おお 大きなマンションや しんさい じ しょうぼうしや きゅうきゅうしや 震災時に消防車や救急車などが つうこう じゅうよう どうろぞ たても 通行する重要な道路沿いの建物な どには、よりおほ じよせいきんせいど 多くの助成金制度が もう 設けられています。</p>	○
<p>しきく 5 しんらい ぎじゅつしや いくせい (施策5 信頼できる技術者の育成)</p>			
47	<p>ぎじゅつしや いくせい たいせつ 技術者の育成も大切だが ぎじゅつしやしぼう ふ たいせつ 技術者志望を増やすことも大切 なのではないでしょうか。 たいしんぎじゅつ たずさ ひと ふ 耐震技術に携わる人が増え れば耐震の建物を増やしていく ことや、ぎじゅつ こうじょう ことや、技術の向上にもつな がるかもしれないことから ぎじゅつしや しえん おこな 技術者への支援をより行って ほしい。 たいしんぎじゅつ ぴーあーる いっそう 耐震技術のP R もより一層 おこな ぎじゅつしや たいしん もと 行い、技術者も耐震を求める ひと ふ くぜんたい じしん 人も増えれば区全体が地震につ よいまちとなれるのではないで しょうか。 おこな いけん けん (ほか同じ意見 1件)</p>	<p>たいしん しごと ぎじゅつしや ふ 耐震の仕事をする技術者を増や すことは、じしん つよ 地震に強いまちにして いくために、とてもたいせつ 大切です。 く たいしんかいしゅうこうじ かん 区では、耐震改修工事に関する じぎょうしや む こうしゅうかい かいさい 事業者向けの講習会を開催した くみん あんしん たいしんかいしゅうこうじ り、区民が安心して耐震改修工事 とく に取り組めるよう、イベントや じょうほうはっしん おこな 情報発信を行っています。 こうしたとりくみ たいしん しごと こうした取組が、耐震の仕事に きょうみ ひと ふ 興味をもつ人を増やすきっかけに もなるとかんが 考えています。 これから、ぎじゅつしや さき と これからも、技術者を支える取 く たいしんか ふきゅう すす り組みや、耐震化の普及を進めて いきます。</p>	○

かんれんせさく かん 関連施策に関すること			
48	いつも通る道に古いブロック塀があって心配。 (ほか同じ意見 2件)	区では道路等に面していて、倒れると危ないブロック塀等について、塀を取り壊す際に区が費用の一部を補助する仕組みがあります。 また、危ない塀の所有者や管理者には危ないところをなおして安全な状態にするようお願いして、安全で災害に強いまちの実現を進めています。	○
49	練馬区耐震改修促進計画を讀んで、命を守るために、自分の家の倒れてきそうな家具を倒れてこないように、固定しようと思った。 (ほか同じ意見 1件)	家具が倒れると、怪我をしたり、避難の妨げになることがあります。そのため、家具をしっかりと固定しておくことはとても大切です。 区では、家具を固定する器具の紹介や、災害時に自分達の力で避難することが難しい世帯（避難こうどうようしえんしゃ せたい ひなんこうどうようしえんしゃ せたい）への設置支援を行っています。	○
50	地震の際、家具が倒れてくる可能性があるから、それを防ぐために突っ張り棒などの防災用品を区民に配布する。		○
ほか その他			
51	古い建物は新しいものに建て替えてもいいと思う。 (ほか同じ意見 2件)	古い建物を建替えたり、リフォームしたりするのは、所有者の人が決めることですが、区では、できるだけ古い建物を地震に強くするために耐震改修工事への助成など、さまざまな支援を行っています。	○
52	古いマンションや空き家はリフォームして塾や〇〇教室などを開いたりすれば良いと思いました。		○

53	道が塞がれないために、マンションをなるべく少なくする。	区内の大事な道沿いでは、大きな地震が来た時に道が塞がれないようにするために、区では、できるだけ古い建物を地震に強くするための耐震改修工事への助成など、さまざまな支援を行っています。	○
54	すぐ家に住めるように、なるべくすぐ家を直してほしい。	区では、大地震が起きた場合の建物倒壊などの被害を減らすため、建物の耐震改修工事への助成など、さまざまな支援を行っています。	□
55	地震が起きて家が倒れたら、練馬区のお金で新しい家を建ててほしい。	大地震が起きてしまった場合には、震災直後に当面の生活を守るための応急的な支援や、家の建替えや生活を再建するための支援を行う制度（災害救助法、被災者生活再建支援法など）があります。 これからも、多くの方が安全に暮らせるよう、地震への備えを進めていきます。	□
56	古い建物が多いいけど、工事はうるさいので嫌だ。	工事の音が気になるというご意見はもつともで、区としても理解しています。 しかし、古い建物は地震で倒れる危険があり、周りの人の安全を守るためには耐震工事がとても大切です。 区では、工事の騒音をできるだけ少なくするよう事業者に協力	—

		<p>ねが お願いしながら、あんぜん 安全なまちづくりを進めています。</p>	
57	<p>たいしんせいきょうか やす 耐震性強化ガラスを安くしてほしい。 (ほか 同じ意見 1件)</p>	<p>じしん つよ ねだん 地震に強いガラスの値段は、せいさく はんばい みせ き 制作メーカーや販売するお店が決めるため、く ちよくせつやす 区が直接安くすることはこんなん は困難です。</p> <p>く たいしんせいきょうか 区では、耐震性強化ガラスのじよせい おこな 助成は行 っていないませんが、じしん たいさく かん じょうほう 対策に関する情報をホームページ、こうほうし えすえぬえす かつよう 広報紙やSNSなどを活用し、わ 分かりやすい形 で発信していきます。</p>	—
58	<p>じしん さいがい お とき もし地震や災害が起こった時のために、ぼうはん きぐ 防犯器具をたくさん売ってほしいです。</p>	<p>さいがい じ ちいき あんぜん 災害時における地域の安全・あんしん い じ 安心を維持するため、へいじょう じ 平常時からパトロール だんたい ちいき ぼうはん ぼうか 団体や地域防犯防火れんけい そしき かつどう しえん おこな 連携組織への活動支援を行 うとと ぼうはん ぼうはん たいさく もに、防犯カメラなどの防犯対策ぶつ びん こうにゆう せっち かかわ 物品の購入および設置に係るひよう いちぶ じよせい 費用の一部を助成しています。</p> <p>さいがい じ けいさつ など れんけい また、災害時は警察等と連携しあんぜんあんしん 「安全安心パトロールカー」によるきょうか じゆんかいとう じっし 強化巡回等を実施します。</p> <p>ひ つづ けいさつ かんけい きかん など 引き続き、警察や関係機関等とれんけい 連携しながら、ちいき あんぜん あんしん 地域の安全・安心をまも 守る取り組みを進めていきます。</p>	□
59	<p>がっこう 学校がボロすぎます。 ところどころ はい 所々ひびが入っているところがありました。</p>	<p>ねりま くりつ しょう ちゅう がっこう はんすう いじょう 練馬区立小中学校の半数以上ちく ねん いじょう けいか ろうきゅうか すす が築50年以上経過し、老朽化が進んでい るため、「ねりま ぐ がっこう せつ 練馬区学校施設かんり きほん けいかく もと ねん 管理基本計画」に基づき、年3～</p>	□

		<p>4校ずつ改築または長寿命化 改修工事を行っています。 その他、屋上防水外壁改修、 トイレ改修など年に数校ずつです が計画的に工事を進め、学校施設 の維持管理に努めています。 校舎内の壁にひび割れなどを 発見した場合には、先生や事務 職員に教えてください。学校と 相談しながら、補修等を検討して いきます。</p>	
60	<p>道路を液状化しにくくする。</p>	<p>液状化を防ぐことは困難です が、「東京の液状化予測図」によ ると練馬区内は、比較的液状化が 起こりにくいと予測されていま す。 道路や建物の液状化被害を軽減 するために技術革新、関連する国 の動向などを注視していきます。</p>	—
61	<p>ダンゴムシの姿勢で身を守 る。マンションの近くで地震が 起きたらみんなの体を守るこ とが大事。</p>	<p>地震のときに体を守るために、 すばやく身をかがめて頭を守る 行動はとても大切です。 また、地震の時に危険な建物か ら離れることも大事です。 引き続き、建物の耐震化を進め るための取組を行っています。</p>	○
62	<p>避難所を増やしたほうが良い と思います。 (ほか同じ意見 1件)</p>	<p>大きな地震が起きた時は、区立 の全小・中学校(98か所)が 避難所となります。災害の状況 によって避難する人が増えた場合</p>	—

		<p>ほか くりつしせつ かいせつ りんじ は、他の区立施設を開設して臨時 ひなんじょ ふ の避難所を増やします。 こんざつ かんきょう あつか 混雑によって環境が悪化せず、 りょうこう せいかつかんきょう かくほ たいさく 良好な生活環境を確保する対策 をします。</p>	
63	<p>ねりまく かんじょうほちごうせん かんじょう 練馬区は環状八号線や環状 ななごうせん しゅよう どうろ とお 七号線などの主要な道路が通 ています。環状線内の建物は かんじょうせんない たてもの 木造建築が多いと聞きます。し もくぞうけんちく おお き かし、その建物を全て改築する たてもの すべ かいちく ことは難しいと思います。 むずか おも そのため、地域の防災訓練を ちいき ぼうさいくんれん 区で実施することや消防のた く じっし しょうぼう めの道具の改修を行うことが どうぐ かいしゅう おこなう 重要だと思ひます。 じゅうよう おも</p>	<p>くない だいじ どうろぞい たてもの 区内の大事な道路沿いの建物や じゅうたく たいしんか すず 住宅は、耐震化が進み、それぞれ わりいじょう たいしんせい たてもの 9割以上が耐震性のある建物とな っています。引き続き、建物の ひ つづ たてもの 耐震化を進めるための取組を行っ たいしんか すず とりくみ おこな ていきます。また、区では、日頃 ちいき いっしょ あんび から地域のみなさんと一緒に安否 かくにんくんれん しょきしょうかくんれん くわ 確認訓練や初期消火訓練に加え ひなん すべ ひと あんしん て、避難された全ての人が安心し ひなんせいかつ おく た だ て避難生活を送れるよう炊き出し くんれん おこな 訓練なども行っています。 いちぶ ちいき だれ つか 一部の地域では、誰もが使える しょうかき どうろじょう お ように消火器を道路上に置くだけ しょうかのうりよく たか でなく、消火能力が高い「スタン ドパイプ」を区立施設やコンビニ くりつしせつ などに置いて、火事による被害を お か じ ひがい すく すす 少なくするためのそなえを進めて います。</p>	□
64	<p>こうえん ひなん しょうい 公園に避難グッズを用意して おく。</p>	<p>く こうえんせいび 区では、公園整備にあたり、 しきちとう じょうきょう おう ぼうさいし 敷地等の状況に応じて、防災資 きざい ほかん ぼうさいびちくそうこなど 機材を保管する防災備蓄倉庫等を せっち 設置しています。 とりつこうえん ぼうさいよう また、都立公園では、防災用の しょうめいせつび など せいび 照明設備やトイレ等を整備してい ます。公園は、地震や火災が発生 こうえん じしん かせい ぼっせい した際の一時的な避難場所です さい いちじてき ひなん ぼしよ</p>	□

		<p>が、周囲の安全を確認した後、区の指定する避難所（区立小中学校）に移動することになります。</p> <p>区では、避難所に食料や水などの避難生活に必要な物資を備蓄しています。</p> <p>引き続き、良好な避難所環境が確保できるよう物資の充実に取り組んでいきます。</p>	
65	<p>生活に絶対に必要な食べ物や水などは、三日経ったらじゃなくてもっと早く来ると良いと思う。</p> <p>(ほか同じ意見 4件)</p>	<p>避難場所となる区立小中学校には、700人分の水や食料などを準備しています。</p> <p>足りない場合には、区が備蓄倉庫などから避難場所まで運び、避難した人たちにお届けします。</p> <p>大きな地震が起きたときでも、自分の家が安全な場合には、そのまま生活することが基本です。</p> <p>生活が続けられるように、日頃から1週間分の水や食料を用意しておくことが大事です。</p> <p>昨年、各家庭にお配りした「防災の手引」には地震へのそなえに役立つことが書いてあるので、読んでみてください。</p>	<input type="checkbox"/>
66	<p>避難場所に食料を増やしてほしい。避難した人たちがみんなが、食べられるようにしたい。</p>	<p>避難場所にある食料は、味や栄養などを確認し、アレルギーがある人でも安心しておいしく食べられるものを選んでいきます。</p> <p>温かい食事をつくることができ</p>	<input type="checkbox"/>
67	<p>避難したときの食べ物をおいしいものにしたい。</p>		<input type="checkbox"/>
68	<p>ガスとかを使って食べられるようにしたい。</p>		<input type="checkbox"/>

		<p>るように、避難場所には、かまどやバーナーなどの道具も準備しています。</p>	
69	<p>ダンボールや災害グッズを配ってほしい（地震がおきた後に使う。避難所でプライバシーを確保する）</p>	<p>避難場所には、プライバシーを 守れるテントや空気を入れて使う エアベッドを準備しています。 避難する人が多かったり、避難 生活が長くなったりする場合には、 ダンボールベッドやパーティー ションをつくっている会社 協力してもらって避難場所に届 けるなど、避難する人たちが安心 して生活できる環境を整えま す。</p>	□